

沖縄・尖閣諸島沖で起きた日本の巡視船と中国漁船の衝突事件が、県関係事業にも暗い影を落とす始めている。中国・上海市で計画され、県も参加を予定していた催し「日中文化交流交流ウィーク」が20日に中止が決まったほか、今月下旬に上海市と周辺の無錫、江陰、宜興の3市で企画されていた観光関連の商談会も、21日になり、中国側から延期が通告された。

【6面に関連記事】

県は近年、中国の巨大市場を照準に定め、観光誘客などの戦略を描いてきたが、事件を機に「日に日に不透明さを増す日中関係」、担当者は焦りを募らせている。今後の展開次第では、中国からの観光誘客の戦略見直しも迫られそうだ。

費用弁償を協議

21日に開かれた県観光産業委員会、県観光交流局長が日中文化交流ウィークの中止を報告。山田憲昭委員(自民)が県の対応を促した。山田局長は開

日中関係の悪化

県の誘客戦略に暗雲

観光商談会も中止

「追い風が逆風に」

準備にかかった費用弁償などを中国側と協議するとして、中止は残念としが言いよらない」と遺憾の意を示した。

商談会は無錫市など3市と県の観光交流協定に基づき行われる方向だったが、3市側が県上海事務所「現下の日中関係では十分な協力ができない」などと連絡してきた。商談会には、石川側から県



内の観光関連企業やホテルの担当者ら23人が参加する予定だった。中国側の誘客をめぐっては、7月に中国人個人向け訪日観光ビザの発給要件が緩和され、県としても各本正廳知事が同月に訪中するなど誘客に本腰を入れた矢先だった。

上海市内の富裕層向けスーパーに試験的な県産品販売コーナーを設置する予定。江蘇省とビジネス交流会を創設し、進出企業をサポートする構想もあるが、「いずれの事業も現時点で計画に変更はないもの、先行きは読めない」(産業政策課)と警戒する。

さらに県は、小松―上海の航空定期便への影響も懸念する。事件を受け、中国外務省は日中間の関係以上の交流停止や、航空路線の増便交渉中止などの報復措置を取ることを明らかにした。が、週4便の小松―上海便の増便を求める県

増便へ影響懸念

小松―上海便は21日、運航会社中国東方航空などへの情報収集に追われた。県によると、現時点で定期便の客席キャンセルや増便交渉中止に関する具体的な情報は得られておらず、「今後の展開を注視していきたい」(空港企画課)としている。

修学旅行を計画

「情勢見極める」

金沢商高 県と県教委の21日のまとめでは、県内の公立、私立高校のうち、今秋に中国への修学旅行を計画しているのは金沢商高だけだった。同校ではツーリズムコースを過折する2年生10人が11月29日から12月3日、上海や南京を訪れる予定。同校の担当教諭は「情勢を見極めて対応したい」と話し、10月下旬までに旅行先の変更を含めて結論を出すとしている。

江蘇省人民代と協定「影響ない」

県議会

江蘇省人民代表と協定「影響ない」 県議会は予定通り、藤井敏弘議長を団長とする訪問団を10月末、江蘇省に派遣する方針である。交流協定は県訪中団の一員として作野広昭副議長が7月末、江蘇省を訪ねた際、問い合わせたところ、「影響はない」との返

答があった。 県議会は予定通り、藤井敏弘議長を団長とする訪問団を10月末、江蘇省に派遣する方針である。交流協定は県訪中団の一員として作野広昭副議長が7月末、江蘇省を訪ねた際、問い合わせたところ、「影響はない」との返

## 日中交流事業

# 延期相次ぐ

### 金箔職人派遣など 安全確保できぬ恐れ

沖縄・尖閣諸島(中国名・釣魚島)付近で起きた日本の巡視船と中国漁船の衝突事件で日中関係が緊張している影響で、石川県と中国の各都市との交流事業が相次いで中止や延期になった。石川、富山両県の観光地や温泉などでは「中国客はこれからの市場」で、今のところ影響は少ないが、長期化を懸念する声も出始めている。

石川県が観光業者二十三人を中国・江蘇省に派遣する事業が急ぎに延期された。二十六、二十七日に現地の旅行会社と商談会などを開く予定だったが、二十一日午後、無錫や江陰など受け入れ側の各市から、現在の日中関係では協力できないとの連絡があった。

さらに二十四日から上海市で開かれる予定だったイベント「日中文化交流交流ウィーク」も、参加者の安全を確保できない恐れがあるとし、二十日夜に主催者側が県へ中止を申し出た。県側は、芸妓、金箔職人ら十三人が参加準備を進めていた。中国人への訪日ビザ発給要件緩和を受け、富山県交流政策課は誘客を市にすると、これまで進めていただけに「石川の中国での認知度を向上させる良い機会だったが残念」と話す。

一方、外国人観光客誘致を進める立山黒部アルペンルートを運営する立山黒部貫光(富山)市によると、これまで

に予約の取り消しなどはない。台湾や韓国などから訪れる客が多く「中国本土の客はこれからの市場」それだけに、同社は「早めに解決してほしい」と話す。

富山県黒部市宇奈月温泉は、昨年一年間で中国人は数百人程度で、宇奈月温泉旅館協同組合は「影響はない」。石川県七尾市和倉温泉でも年間約一万人の外国人旅行客のうち、二〇〇九年度の中国人旅行客は約二百三十人で、同温泉観光協

会の芦本芳朗事務局長「止令が出ない限り、大は「中国人旅行客は個性な影響はないだろ人客がメイン。渡航禁う」と話している。

国際交流協会の幅広い世代に親しまれ、世界の一を皮切りに、世界の「ロシア式野球」を二緒にやりましはルールが異なり、誰く方針だ。ようー(本社後援はでも簡単に染しめ、当 参加資格は小学校3月10日午後1時半から、白山市の松任総合運動公園で行われる。)

### ロシア式野球 やってみよう

来月、松任運動公園

小中学生に楽しみながら異文化に親しんでもらおうと初めて企画。日はロシア出身の奥国 問い合わせは同協会11し、スポーツを通して 際交流員が講師を務め 076(262)59 世界を知ってもらう。同協会ではフプタ 322まで。

「フプター」はロシアの伝統的な遊びで、小中学生対象に「フプター」

### 石川とヤロスラブリ

森喜朗元首相はこのほど、プーチン首相の招請でロシア・ヤロスラブリ市を訪れ、建都千年祭とコマツの新工場開所式に出席した。モスクワ北東のヤロスラブリは世界遺産登録された歴史都市。「地域を愛し、歴史を大事にする」との市民意識が強いという。さらに人口61万人中、5万8千人が大学生という「学都」でもあり、石川、金沢との共通性も感じ取ったよう。

### 訪口の森氏「関係深化を確信」

森喜朗元首相はこのほど、コマツの板根正弘会長は、地域貢献として、地元技術系大学での講座開設や共同研究などの産学連携に取り組むことも発表し、ロシア側出席者を大いに感激させたという。

小松を発祥の地とする「コマツ」に加え、くしくも金沢医科大学もヤロスラブリ州立医科大学との交流を進めている。また、県内での知名度は低いながら、森氏は「コマツなどのおかげで、石川とヤロスラブリの関係は今後、ますます深まる」と確信したよう。

### 授業の仕方見習いたい

金石町小  
アフリカ教育関係者ら



ガーナの教育関係者と一緒に大綱跳びをする児童たち=金石町小で

小中学校の学校運営などを学ぶため、県内で研修しているアフリカの教育関係者が二十一日、金沢市の金石町小学校を訪れ、全校児童三百九十七人と授業や給食で交流を深めた。

ガーナとマラウイの校長や教育担当の行政官の六人が訪問し、児童二十八人が金石地域に伝わる伝統の舞「悪魔払い」で歓迎。六人は分かれて体育や英語の授業に参加した。

三、四年生との体育の授業では、一緒に大綱跳びをしたり、日本の鬼ごっこに似たマラウイの遊び「キツネの時間」を教えて児童と楽しんだ。

ガーナの教育機関に勤めるギブオン・ナイ・マヤさん(右)は「先生もシャーシーを着て一緒に参加している姿に驚いた。校長も教頭も授業へ積極的に関わっており、学校全体で生徒に学ばせようとする姿は見習いたい」と話していた。

(瀬川剛司)

22. 9. 22

北国(朝・夕)  
加賀版  
国際交流課

書籍「千田壽贈  
寺田氏に感謝」

白山市長と懇談



メキシコや韓国特命全權大使などを歴任した元外交官、寺田輝介氏(写真)が21日、白山市役所を訪問し、角光雄市長と懇談した。寺田氏は12年前から松任図書館の「寺田文庫」に約1千冊の書籍を贈っており、角

市長は「多くの本をいただいたが、本当にありがたい」と感謝の言葉を述べた。

寺田氏は1995(平成

7)年に旧松任市で外務省主催の「外交の窓」を開いたことを縁に市関係者と交流がある。メキシコに幾太鼓を招いたことを振り返った寺田氏は「何か恩返しをしたい」と本を送ってきた。命が縮く限り続けたい」と笑顔で語った。

寺田氏は現在、外国人記者の取材を支援するフォーリン・プレスセンター理事長を務めている。白山市については「心ある人々のような思いがある。豊かな自然を海外に発信するお手伝いをしたい」と話した。懇談に先立ち、寺田氏は県庁に谷本正憲知事を訪問した。

22. 9. 22

北国(朝・夕)  
国際交流課

台湾へ交流の「うちわ」

浅野川小6年生

うちわを制作する児童—浅野川小



金沢城や五色生菓子描く

浅野川小の6年生25人は21日、今月から交流を始めた台湾の志開小児童に贈るうちわを仕上げた。うちわには金沢城公園や兼六園、五色生菓子などが描かれ、金沢の名

所や食文化を伝えながら両校児童の交流促進につなげる。うちわ制作は国際理解教育などを進める国連教育科学文化機関(ユネスコ)の「ユネスコ・スクール」活動の一環。志開小の4年生13人に金沢を知ってもらうため、自己紹介カードなどと一緒のうちわを贈ることにした。

この日、児童は用水に泳ぐコイや梅鉢紋などを下書きしたうちわに、思い思いの色を描き入れた。うちわは今月中に志開小に届けられる。

# iPhoneで最新情報 加賀温泉アプリ

加賀市山中温泉のソフトウェア開発者吉田雅博さん(50)は21日までに、新型携帯電話「iPhone(アイフォン)」用に山代、片山津、山中の温泉情報アプリケーション(アプリ)を開発した。名所や宿泊施設の情報が一覧に検索でき、日本語のほか英、中国、韓国語に対応しており、国内だけではなく海外にも加賀温泉の最新情報を発信する。

「エムズ・クリエイティブ」社長の吉田さんは昨春秋、全世界で8500万人が使用しているアイフォーンに興味を持ち、独自で開発を開始。地元の活性化にも一役買いたい」と温泉案内アプリをつくることにした。アプリは、各温泉の観光協会や旅館組合などの協力を得て、



名所や宿泊施設の写真、説明を掲載するとともに、衛星利用測位システム(GPS)を活用し、目的までの経路を表示するナビゲーション機能も備えた。また外国人観光客や海外からの利用を狙い、日本語のほか英、中国語繁体字・簡体字、韓国語を採用している。アプリは5月のeメッセ金沢2010(本社後援)に出展し、関係者から高い評価を得たという。吉田さんは今後、県内外の温泉情報アプリも開発する予定で、「グルメ情報なども加えてより使い勝手のいいものになりたい」としている。

加賀の吉田さん開発

4カ国語対応 □ 外国人誘客へ

# 活路を拓く

北陸の繊維産地

耐久性と着心地の良  
さの両立が求められる  
アウトドア衣料品。各  
社の開発競争は激し  
く、多様な機能性への  
ニーズは年々高まって  
いる。そのカギを握る  
のが素材の「超軽薄  
化」だ。

繊維製造や燃糸、織  
物などの七社を抱える  
「カジグループ」(金  
沢市)はこの分野の草  
分け。十一・二十(一  
足は九千びで一足)と  
いった極細糸を高密度  
で織り、厚さわずか約  
五十ミクロン(千分の五十  
ミクロン)の軽量素材に仕上  
げる技術では、世界の  
トップランナーだ。

工場はフル生産が続  
く。グループの前線を  
指揮する梶政隆専務  
(左)は「二〇二一年の  
秋冬シーズンを把握  
え、(石川県)かほく

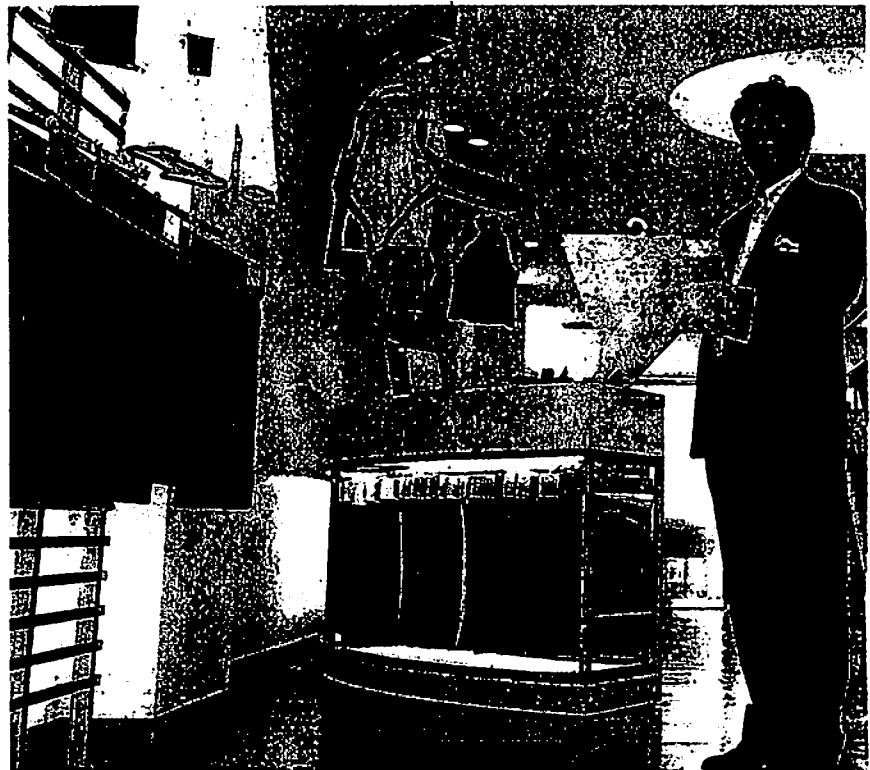
## カジグループ

市の織物工場の増産体  
制の検討を始めてい  
る」と投資計画を明か  
す。

躍進の原点は社運を  
賭けた六年前の決断に  
ある。中国などアジア  
勢とまともに競合する  
四十足より太い糸を使  
った「標準物」素材の  
受注をいっさい捨て、  
軽量素材に絞り込む差  
別化戦略に打って出た  
のだ。生産効率は標準  
物の三・四分の一と低  
く、受注規模も小さ

# 軽量薄物ならお任せ

設備更新の費用も 業界に浸透してきた。イロン」が多彩な機能 「大切なのは、付加価  
莫大で「当時は懐疑的 成長の源泉はグルー 性を持つ加工糸を生 値の掛け算」。各社の  
な見方も多かったがプの一貫生産体制にあ 産、それを「カシレー ノウハウを掛け合わせ  
薄地、高密度ならかる。「梶製作所」が織 ネ」が最適な組み合わせれば海外勢は容易に追  
シ」といツイメージを 機を改造し、「カシナ せて織物に仕上げる。 いっけない」



超軽量素材にターゲットを絞り差別化に成功したカジグルー  
プ。多彩な機能性を大手アパレルなどに提案する。金沢市内で

## 一貫生産「付加価値の掛け算」

製品の企画段階から  
積極的に携わる。ニユ  
ーOEM(相手先プ  
ラントによる生産)ピジ  
ネスも強みだ。「も  
っと光沢を出せない  
か」「ストレッチ性も  
ほしい」。同社には、  
大手アパレルや原系メ  
ーカーから相談が引き  
も切らない。

次のステップに向け  
て熱い視線を注ぐの  
は、炭素繊維やアラミ  
ド繊維に代表される  
「スーパー繊維」を用  
いた非衣料分野の新商  
品だ。目標は三年後の  
市場投入。この分野で  
も世界先端を見据え、  
着々と準備を進めてい  
る。

中国などアジアの台  
頭に苦しむ北陸の繊維  
産地。急激な円高など  
で経営環境は厳しさを  
増すが、各社は得意分  
野に磨きをかけること  
で差別化し、次代の活  
路を拓くこととしてい  
る。最前線の動きを随  
時紹介する。

(瀬戸勝之)



# 日中経済「尖閣」不安

沖縄・尖閣諸島(中国名・釣魚島)沖での海上保安庁巡視船と中国漁船の衝突事件が、日中の経済関係に悪影響を及ぼし始めた。中国の大手企業が日本への大規模な社員旅行を取りやめ、訪日中国人観光客への期待が大きい観光・流通業関係者は「影響の拡大が心配」と懸念する。一方、中国では事務所を借りよとした日本企業が断られるケースも出ている。(日中経済取材班)

## ■期待に冷や水

政府は七月から、中国人の個人観光ビザ発給の年収要件を引き下げ、中国からの観光客増加に、観光業界などの期待が高まっている。衝突事件は、そんな期待に冷や水を浴びせかねない。

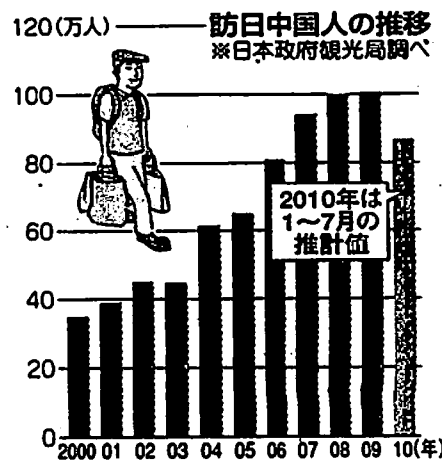
訪日中国人数は、団体旅行が限定的に解禁

## 訪日客増の見込み動揺／現地の反応、注視

政府は七月から、中国人の個人観光ビザ発給の年収要件を引き下げ、中国からの観光客増加に、観光業界などの期待が高まっている。衝突事件は、そんな期待に冷や水を浴びせかねない。

訪日客増の見込み動揺、現地の反応、注視

訪日客増の見込み動揺、現地の反応、注視



「二十日になって追いつかない」と影響の兆候は出ていないとの認識を示した。

北京のある日系スーパーは反日デモがあった十八日、日本大使館前に警備員を派遣、デモ隊が店舗へ向かわないか確認した。「集客は通常で、不買運動などはない。お客さまの安全が大事なので(別流通大手)と従業員に注意喚起している。ただ、ビジネス面では「お互い商売なので影響は少ないだろう。〇五年の反日デモの時もあまりなかった(機械メーカー)と分析。日産自動車のカルロス・ゴーン社長も二十日、中国・鄭州市での記者会見で「受注残は積み上がり、生産が

「広がる懸念」

航空関連では、昨年四月以降、中断している日中航空交渉への影響に懸念が広がる。二十日の関係者記者会見で馬淵澄夫国土交通相は「中止について連絡があったという事実はない」と、一部報道で伝えられる中止を否定した。だが、今回の事態を受けて交渉再開時期がずれ込めば、日本側が求めている羽田空港発の中国線増便の実現もさらに遅れるだけに、全日空は「新たな懸念材料で、注視していきたい。」(広報)

